

【はじめに】 当院では、1998年6月より Potluck Party Method (PPM) というシステムで病院全体を守備範囲とした全科型の NST を稼働・運営してきた。1期を半年の任期としているため現在第11期が活動中である。今回、現在までの NST 活動、現在企画・検討している内容を紹介するとともに、活動の中で浮き彫りとなった問題点を提示する。

【NST 活動】NST 稼働当初より、院内における栄養管理に伴う様々な問題点を討議・検討してきた。検討項目の一部を列記すると 投与カロリー不足症例の抽出・対策、経腸・経静脈栄養法の見直し、院内栄養アセスメント法の啓蒙・確立、院内感染対策、早期経腸栄養の実践、誤接続防止対策、NST 在宅部門設立、嚥下・摂食障害チームの設立、NST 症例データベースの構築、NST 教育プログラムの構築、等があげられる。どれも NST 活動を実施していく中で抽出されてきた項目である。上記した項目を検討・対策・実施・評価・再検討というように常に最近の動向も考慮し、活動を実施していけるよう心がけている。

最近の検討内容としては 各職種別 NST 教育プログラムの構築、入院時栄養スクリーニング確立、NST マニュアルの作成・改訂、チーム医療推進委員会の活性化、NST クリニカルパスの作成、他施設より見学者対象カリキュラム作成、等の項目に着手している。

【NST 活動における問題点】NST 稼働当初問題であった「職場・上司の理解が得られない」はシステムの定着と NST の実績により改善されてきた。現時点では「マンパワー不足」特に医師の参加不足がアンケート結果により浮き彫りとなった。

【結語】当院における NST 稼働は“患者中心の医療”を院内に根づかせ、病院全体における“チーム医療”という概念を植え付けることができた。常に近年の動向に目を向けながらの活動は必要であるが、それ以前に1症例毎に向かい合い、確実に対処していく NST 本来の役割を果たしていく事が重要と考える。当院 NST はこの5年間の活動で常にそれを実践してきた。今後も NST のスピリットを忘れず、課題をクリアにしていきたい。